

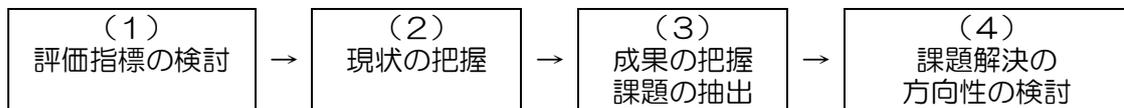
「男女共学化」及び「全県一学区化」の検証に関するこれまでの審議のまとめ  
第2回県立高等学校将来構想審議会（第3期）への部会報告（案）

### 1. 検証の目的

- 高校教育改革の成果等に関する検証は、高校教育改革を着実に推進し、その実効性を確保していくために、高校教育改革の各種施策・取組の進捗状況や成果・課題について、客観的かつ専門的な見地から明らかにするとともに、その結果を中長期的な計画の立案に反映させることを目的として実施する。
- 併せて、検証のプロセスと結果を適時・的確に県民に情報提供し、高校教育改革に係る県民への説明責任を向上させていく。

### 2. 検証の進め方（フロー図）

- (1) 検証の項目や検証データ等の評価指標を検討する。
- (2) (1)に基づきデータを収集の上、現状を把握して、定量的・定性的に検証・評価する。
- (3) 高校教育改革の取組における成果・課題を抽出する。
- (4) 抽出した課題については、解決の方向性についても検討し、教育委員会への提言として取りまとめる。



### 3. これまでの検証内容について

#### (1) 評価指標の検討

第2期審議会において基本的なスキームを作成済み

#### (2) 定量データの分析

第2期審議会から引き続き、主に次のデータについて、学校のタイプ別※学校別に整理し、年次推移を確認するとともに、学校のタイプ別・学校別の特徴を分析した。

※ 学校のタイプ別

男女共学化…統合による共学化校・旧男子校・旧女子校

全県一学区化…進路指導拠点校（仙台市）、進路指導重点校（仙台市以外）、英語科・理数科設置校

#### ① 男女共学化

一般入試出願倍率、1年次生徒の男女比、生徒の学校評価、不登校率、中途退学率、スクールカウンセラーへの相談件数、運動施設の状況、部活動の加入状況

【中間とりまとめにおける主な審議内容】

イ 生徒男女比の推移

生徒の男女比を見る限りにおいては、共学化は緩やかに進行していると言ってもよいのではないかという意見がある一方で、女子校からの共学化校において男子生徒の数が伸び悩んでいる状況を指摘する意見もあることから、その要因分析をも含め、こうした現状が課題に繋がっていないかどうかについての議論を更に深める必要がある。

ロ 学校経営

これまでのデータ分析では明確になっていない点もあることから、学校評価などのデータを手がかりとしながら指標を設定した上で、評価を行い、成果と課題を明らかにするとともに、特徴のある学校を中心にデータ分析を進める必要がある。

② 全県一学区化

一般入試出願倍率，同一地区の公立高校（全日制課程）への進学割合，みやぎ学力状況調査（国数英）の結果，部活動の加入状況，生徒の学校評価

【中間とりまとめにおける主な審議内容】

イ 生徒の地区間流入による影響

地区間の比較でみる限りにおいては、現段階では、特定の地区への志願者の集中は見られない。生徒の地区間移動が更に進むか否かは、現段階では読み取れないことから、今後の推移を継続して見ていくとともに、教育機会の不均等や学力の地区間・学校間格差が生じていないかについて継続して点検していく必要がある。

ロ 学力の向上・学校の特色づくり

特定の地区・学校への志願者の集中や生徒の流出に伴う学力の低下など、全県一学区化の実施に当たって懸念されていた事項は現在のところ見られないが、継続して確認していく必要がある。

(3) 定性データの分析

① 現地調査の実施

男女共学化校や進路指導拠点校など19校を対象に、平成24年12月から平成25年12月まで現地調査を実施する。

○ 対象校

白石，角田，仙前一，仙前一華，仙前一桜，仙前一，仙前一三，宮城一，宮城野，泉館山，塩釜，古川，古川黎明，築館，佐沼，石巻，石巻好文館，石巻商業，気仙沼

○ 主な調査項目

教育方針・教育課程，学校の特色づくりの状況，生徒会活動・部活動の実施状況，学校運営及び教育活動の点検・改善活動の実施状況，男女が共に学ぶ環境の状況，中学校への情報発信の状況，その他

## ② 中学校へのアンケート調査の実施

平成24年11月に宮城県内全ての公立中学校を対象に次の調査項目についてアンケートを実施。

### ○ 主な調査項目

生徒・保護者の進路希望動向，進路指導等の状況，高校の特色づくりの状況，生徒の学校選択のための情報提供の状況，その他

### 【アンケート結果に関する主な御意見】

- 「男女共学化」や「全県一学区化」に関する懸念事項として挙げられている意見の中には，事実とは異なることを懸念している回答もある。中学校の教員や生徒に対して高校の情報を的確に把握してもらえるような情報発信が必要。

【実施状況】

実施項目	実施内容	実施時期(部会)						
		第1回 H24.11	第2回 H25.1	第3回 H25.3	第4回 H25.7	(予定)第5回 H25.10	(予定)第6回 H26.3	(予定)第7回 H26.5
(1) 評価指標の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期審議会において、基本的なスキームを作成済み</li> <li>・第3期審議会においては、改めて使用するデータの精査及び整理を行う</li> <li>・最終的な効果の検証について、評価指標を検討</li> </ul>	●						
(2) 現状の把握	<b>【定量データ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期審議会から継続してみるデータの推移を確認</li> <li>・新たに収集可能となるデータについても、分析を行う</li> </ul>		●				●	
	<b>【定性データ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定量データでは把握しきれない部分について学校を訪問し、ヒアリングやアンケート調査等を通じて定性データを収集し、分析を行う</li> </ul>			●			●	
(3) 成果の把握・課題の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(2)現状の把握」に基づき、第2期審議会で論点となった事項を含め、施策の当初の目的は達成されているか、学校経営や教育の質の保証の面で課題が生じていないかについて確認する</li> </ul>		●	●			●	
(4) 課題解決の方向性の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が抽出された場合、その解決の方向性について検討し、教育委員会への提言としてとりまとめる</li> </ul>							●